

# 武蔵野日記

(5月25日~6月22日)

発行人 社会福祉法人武蔵野  
武蔵野市吉祥寺北町4-11-16  
0422(54)7666

7月1日現在 職員総311名



5月26日 タワーズマルシェ@むさしの

## 生活介護三施設協働の取り組み

デイセンター山びこ主任 土橋 輝明

2018年度のキックオフとして、4月17日と24日、二週に渡り生活介護三施設の新理念ワーク研修を開催しました。これは障害者総合センター内の三つの生活介護施設(デイセンターふれあい・ワークセンター大地・デイセンター山びこ)の二級以上の職員が参加し、施設の枠を超えて他の施設職員とチームを組み新理念『「地域の中でつながり豊かに自分らしく生きる」を支える』について意見交換するという取り組みでした。このような縦割りではない生活介護三施設の協働の企画は昨年度から始まり、いくつか積み重ねる中で職員同士が同じ生活介護施設を支えるチームであることを意識しつつあるように感じます。

三つの施設の職員がばらばらではなく、同じ支援マインドを持って歩めるような取り組みも行っています。例えばこれまでそれぞれの書式で書かれていた個別支援計画を統一し、全体で個別支援計画作成ワークを行い支援の価値観を共有しました。この他、それぞれの施設が個々で動いていた「送迎」「防災」の担当も三施設合同で協議し、効率化や機能強化を図っています。今後は「広報」「医務」なども同様に進めていく予定です。さらには展示会の合同開催や新たなリサイクル作業や受注作業の開拓、工賃の検討も三施設で検討しているところです。

これからも生活介護施設一体となってさらなる機能強化を行い、ご利用者やご家族の地域生活を支える公益性の高い施設を目指していきます。

# これからもずっと大切にしたいこと

ワークセンター大地副施設長 早川 友紀

山びこ、大地、ふれあい、3つの生活介護施設の一体的な取り組みをここ数年行っている。中期基本計画に掲げている生活介護の機能強化、専門性の向上の取り組みの1つとして、今年度は2つの連続研修が企画されて、始まっている。3つの生活介護の活動の主軸になっている創作に関する研修と支援のベースを共有することを目的とした自閉症の研修である。私は自閉症の研修を担当することになり、毎月1回、計8回の研修の組み立てや内容を考えながら進めているところだ。

ここ数年“強度行動障害”の研修にもいくつか関わらせていただいております。ここでは自閉症の障害特性、特性に合わせた支援やその支援の枠組み、構造化といった基本的なことから、行動を記録、分析し、支援を組み立てていく方法などを中心に講義や演習がなされている。もちろん、これらは押さえておかなければならない内容かもしれないが、私が仲間に伝えたいことや共有したいことは少し違う。

日常の丁寧なやりとりの中で目の前の〇〇さんという人、その人の世界を知ること、その過程の中で自分の価値観や考え方に気づき、揺さぶられながら、その人の想いに近づいていくことが大切ということである。これがベースにあってこそ、様々な支援や活動にしっかりとした意味を持たせることができ、主体的に進めていけるのではないだろうか。私はこのことを、今までのやりとりの中からご利用者に教えてもらった。当たり前のことのように意外と自分の中に『高性能な鏡』（茂木健一郎氏）を持っていないと難しいと実感している。

## 障害者地域生活支援ステーションわくらす武蔵野 準備室より

第2期	6月～9月 利用調整	<b>わくらす武蔵野 いよいよ準備段階は第2期に突入！</b> 6月中旬から、家庭訪問調査、施設訪問調査を開始しています。ご本人、ご家族とお会いしています。 同時に、わくらす各事業計画（案）の作成を始めました。
第3期	10月下旬 内定通知	
	11月中旬 入所説明	
	12月 竣工	
第4期	H31.1月～3月 最終準備	<b>わくらす準備室 NEWS</b> ○5/28 調布市にある「そよかぜ」「なごみ」見学 *生活介護事業と入所施設の連携等を勉強してきました。 ○6/4-8 「ひだまりの里きよせ」一週間の体験研修を行いました。 ○6/8 「ひだまりの里きよせ」実践発表会に参加 *ひだまりの里きよせは、清瀬市にある開設して1年の障害者支援施設です。実践発表会では1年間の支援実践の試行錯誤について、現場ならではの熱い発表が7本。大いに刺激をもらいました。 ○6/13 調布「なごみ」医療体制ヒアリング *準備室看護師が、入所施設での医療体制の実際について聞き取り調査してきました。
第5期	3月下旬 開設	

5月27日(日)

## だるまのワークショップ 50 体完売！

昭和記念公園で開催された関東最大のフードイベント「まんぱく（満腹博覧会）」に参加し、ワークショップを行ないました。今回は“みどり”にちなんだワークショップということだったので、緑色のだるまと葉っぱの形をした座布団をご利用者の方と 50 セット作りしました。イベントに向けて皆さん張り切って作業を進め、短い準備期間で完成させました。

当日は子供から大人まで多くのお客様が来場し、用意していた 50 体を見事完売することができました！ご利用者の皆さんにも報告し、お祝いのドリンクで乾杯しました。

(佐藤 直子)

### デイセンター山びこ



6月9日(土)

## 手芸教室

びーとでは、毎月1回土曜日の午後にボランティア講師による手芸教室を開催しています。この活動支援は休日の過ごし方として、仲間たちとコミュニケーションを取りながら、自分なりの作品を作り上げ楽しむ時間を提供するという目的と、ゆくゆくは一人でも作れるようになり、自立した時間を過ごせるようにという目的で提供しています。手元に集中する1時間はとても静かで、あっという間にティータイム。お茶を飲みながら色々なおしゃべりに花が咲き、これもみなさんにとって良い楽しみになっているようです。

(大石 千笑子)

### 地域生活支援センターびーと



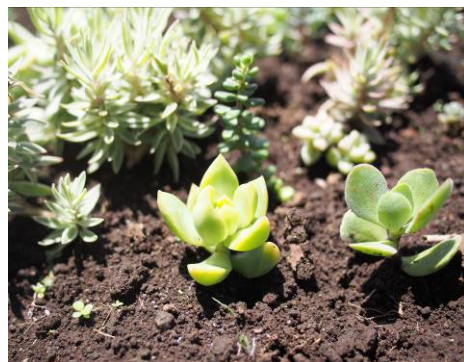
6月10日(日)

## せきまえハウスの庭に

せきまえハウスの庭の一角に、多肉植物のミニ花壇ができました。障害者支援施設「わくらす武蔵野」で活用するための多肉植物を増やしたい、との準備室の呼びかけに応じた取り組みです。ほどなくして、デイセンター山びこの方たちが活動がてら届けてくれました。多肉植物は乾燥には強いとのことですが、多湿な環境の夏を無事乗り越えてくれるのでしょうか。今のところ順調に根付いている様子の多肉植物たち。秋になって、大きく増えたらお届けに行きたいと思えます。

(岩佐 直子)

### せきまえハウス





6月15日(金)

## 今年度のチームの目標に向けて

「季節毎のメニューを各季節に一つ以上増やす」。今年度の食品チームの目標です。地域の皆様に愛される「やさい食堂七福」を目指し、新しく旬なメニューを提供できる工夫をしています。毎月行う試食会は、ご利用者や職員が様々な感想や意見を交換し合い、「何のためにどんな作業をしていくのか」をお互いに確認する大切な場になっています。

写真は梅雨時期ならではの「梅仕事」です。市内の農家の方々にご協力いただき、地場産の梅酒と梅ジュースをご利用者の皆さんと美味しい時期を逃さぬようせっせと仕込みました。9月初めの仕上がりが今から楽しみです。

(草野 理香)

### 武蔵野福祉作業所



6月21日(木)

## ご利用者と楽しみながら装飾制作

手工芸を好きな方が多いこともあり、装飾はご利用者と一緒に作っています。今回は花籠を作成しました。厚紙を丸く切り抜いた物に好きな色の毛糸を選んでもらい巻いていきます。難しい方には花の中心部分の花紙を丸めてもらったりと個々の出来ることを見極めて作業をお願いしています。午前午後のプログラムが始まる前に、周りの方々と楽しくお喋りしながら制作しています。1か月をかけて完成したものを飾った時には歓声が上がりました。それぞれの少しの作業でも集めたら大作になるという喜び、皆で作りに上げたという満足感を味わって頂けたと思います。

(村上 あずさ)

### 桜堤ケアハウスデイサービスセンター



事務局より 7月の予定

2日(月) 係長会議

3日(火) 施設長会議

9日(月) 第2回理事会

17日(火) 誰でも相談室

19日(木) センター避難訓練

31日(火) 経営企画会議

### <編集後記>

7月になり、より一層暑い日が続いております。もうすぐセミが歌を歌い始め、気分も爽快！新人職員の皆様にとっては初めての夏を迎えますが、暑さに負けないように頑張りましょう！水分補給や体調管理を十分にし、晴れ晴れとした気持ちで夏を迎えましょう！

(事務局 塩入 勇)